

【情報公開文書】
観察研究の実施についてのお知らせ

2016年1月1日から2025年12月31日の期間に、京都大学医学部附属病院放射線診断科において、出血を伴う胆管空腸吻合部静脈瘤に対して、カテーテル治療を受けた方へ

京都大学医学部附属病院・京都大学大学院医学研究科では、病気の診断や治療の向上を目指して、実際に治療を受けられた方の臨床情報を元に種々の研究を行っています。以下にその概要を記しますのでご理解の程お願いいたします。

2026年5月11日

1. 研究の名称

出血を伴う胆管空腸吻合部静脈瘤に対するカテーテル治療の検討

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

京都大学大学院医学研究科 画像診断学・核医学
責任者氏名：中本 裕士

4. 研究の目的・意義

胆管空腸吻合部静脈瘤は、胆道再建術後に生じるまれな病態で、出血を伴うことがあります。この疾患は、内視鏡や手術による止血が難しく、低侵襲なカテーテル治療の果たす役割は大きいです。しかし、その有効性や手技方法を検討した研究は限定的です。当院で行った出血を伴う胆管空腸吻合部静脈瘤に対するカテーテル治療の内容を後方視的に検討し、治療戦略と臨床的転帰についてまとめます。その結果は、治療方針の決定に役立つものと考えます。

5. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日から 2029 年 5 月 31 日までの期間

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2016 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日の間に、京都大学医学部附属病院放射線診断科において、出血を伴う胆管空腸吻合部静脈瘤に対してカテーテル治療を受けた患者さん。

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

以下の 8 に記載の情報を用いて、既往歴、現病歴、カテーテル治療の方法、技術的成功率(X 線透視画像上で瘤が描出されなくなったか)、臨床的成功率(静脈瘤からの出血が臨床的になくなったか)、手技の合併症、再出血の有無、再治療の有無、再治療の内容を記録します。研究結果を発表する際には、個人を特定できる情報は削除されますので、個人が特定されることはありません。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

京都大学医学部附属病院放射線診断科において、出血を伴う胆管空腸吻合部静脈瘤に対してカテーテル治療を受けた患者さんの、カルテ情報、カテーテル手技の報告書、関連する CT 画像、X 線透視画像を、個人が特定できない形で使用します。

9. 利用または提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日

10. 当該研究を実施する全ての研究機関の名称及び研究責任者の氏名

京都大学大学院医学研究科 画像診断学・核医学
責任者氏名：中本裕士

11. 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称

京都大学大学院医学研究科 画像診断学・核医学
責任者氏名：中本裕士

12. ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、下記の 15 の連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。なお、論文の公開後に解析対象から削除することは困難です。
13. 他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。
14. 研究資金・利益相反
 - 1) 研究資金の種類および提供者：運営費交付金
 - 2) 提供者と研究者との関係：資金提供者の研究の企画、運営、解析、論文執筆への関与はありません
 - 3) 利益相反：利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。
15. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法
 - 1) 研究に関する相談窓口
京都大学大学院医学研究科 画像診断学・核医学
大西康之 (Tel) 075-751-3760 (E-mail) nmdioffice@kuhp.kyoto-u.ac.jp
 - 2) 京都大学の相談窓口
京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp